

出前講義一覧表 教職大学院2020年度版

分野	題名	講師	講座	対象	内容
教職大学院	学校の危機管理口	今井 弘樹 (いまい ひろき)	教育実践総合センター(学校管理)	教員(小・中)	今日、学校をとりまく環境には様々な危機が存在します。特に学校における不祥事は、学校教育を根底から支える「信頼」を揺るがす大きな課題です。自身が対応に関わったものや近年の事例から、事件・事故の発生前、発生直後、発生後の学校管理や取るべき対応について、具体的に分析・検証し、組織対応の内容や課題について考えていきます。
教職大学院	学校のビジョン形成と評価の手法	大野 裕己 (おおの やすき)		教員(主に小・中・高校)	今日の学校経営改革下で各学校に求められるビジョン形成やその評価の考え方・手法について、学校組織開発や内外連携構築と関連して整理・検討します(講義・演習・コンサルテーション)。※学校関係者評価や学校第三者評価実施への関わりについても、本務に支障のない範囲(年度数件程度)で対応できます。
教職大学院	幼児の健康と生活	奥田 援史 (おくだ えんじ)	幼児教育講座 (健康教育)	教員(幼) 保護者	幼児の健康と生活の関連について概説します。また、「幼児期運動指針」(文部科学省)を解説します。
教職大学院	社会科の学力とパフォーマンス評価	岸本 実 (きしもとみのる)	社会科教育講座 (社会科教育)	教員(小・中・高)	社会科の思考・判断・表現の学力を身につけさせるために、パフォーマンス評価の指導と実践が求められています。授業の中の15～20分の中心活動、1時間そして1単元の授業など、生徒の思考・判断・表現のパフォーマンスをどのように指導し、評価すればよいのか、ワークショップ形式で考察します。
教職大学院	新しい時代が求める資質・能力を伸ばす教育課程・指導・評価	岸本 実 (きしもとみのる)	高度教職実践専攻 (教育方法学)	教員(小・中・高)	新しい学習指導要領により整理された、新しい時代が求める資質・能力を伸ばすためには、学校を基礎に教育課程を編成し、カリキュラムマネジメントを適切に実施していくことが求められています。また単元や授業において確実にその資質・能力を身につけさせる学習指導と評価の在り方が問われています。本講座では、学校、学年、教科など学習者の状況に合わせて、これらの問題を考察します。

教職 大学院	体育授業における 指導と評価の一体化	辻 延浩 (つじ のぶひろ)	保健体育講座 (体育科教育)	教員(小・中・高)	子どもたちが学び合い育ち合う体育授業はどのように実現できるのか。いま教師に求められる考え方や指導性はどのようなものか、協同的な学びをどのようにデザインし、評価していけばよいのか等、学習集団づくりの理論と方法について考えていきましょう。
教職 大学院	算数・数学科の 授業づくり	畑 稔彦 (はた なるひこ)		教員(小・中)	新学習指導要領で目指す「主体的・対話的で深い学び」について、事例をもとにワークショップ形式で考えます。
教職 大学院	自然景観と自然災害 ／ 防災教育と学校安全	藤岡 達也 (ふじおか たつや)	理科教育講座 (科学教育／防災教育)	児童・生徒(小・中・高) 教員(幼・小・中・高・特) 市民一般	本講義では、次の3つのテーマを取り扱っています。テーマの選択等は可能です。 ① 自然と人間との関わり(持続可能な社会とこれからの環境教育) ② 自然景観の形成・活用と自然災害(国立公園・ジオパークと近年発生した自然災害など自然の二面性について) ③ 防災教育と学校安全・学校危機管理(子供を事件・事故災害から守るために)
教職 大学院	授業実践の事例研究	堀江 伸 (ほりえ しん)	学校教育講座 (教育方法学)	教員(小・中)	学校で授業研究を実際にされることを前提に引き受けることにしています。ひとりの教師や何人かの教師が、ある目的で授業研究されるのを参観し、その後の検討会に参加させていただくという形式です。 その目的は、問いませんが、以下の教科に限らせていただきます。国語科、社会科、図工・美術科、道徳、総合の授業です。授業を改善するという目的でも、校内研究のテーマに即した授業研究でもかまいません。進め方などは相談に応じます。
教職 大学院	メディアと教育	松原 伸一 (まつばら しんいち)	技術教育講座 (メディア情報学)	教員(小・中・高) 市民一般	①「メディアの本質を科学する」、②「メディアの利用を実践する」、③「メディアの内容を吟味する」という3つの視点から、メディア教育の在り方について講義する。①では、いろいろなメディアを取り上げ、②では、コンピュータやインターネットなどの情報メディアや、e-Learning/WBL(ネットワークやホームページ利用の学習)などの教育メディアを取り上げ、③では、メディアリテラシーを取り上げて、講義を行います。

教職 大学院	家庭科教育の理論 と実際	矢野 由起 (やの ゆき)	家政教育講座 (家庭科教育)	教員(幼・小・中・高・特)	生涯にわたって自分らしく豊かな生活を送っていくためには、家庭科において何をどのように学べばよいでしょうか。ともに考えてみたいと思います。
-----------	-----------------	------------------	-------------------	---------------	--